

---

---

令和2年度用 小学校 図画工作 教科書

---

---

**年間指導計画と  
題材ごとの観点別評価規準（案）**

**開隆堂**

# 年間指導計画（案）

## 1. 題材配列の基本的な考え方

---

教科書の各学年における題材は、発達の段階の応じて実践に適切な季節及び行事との関係、内容（造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞）や学習指導要領で扱われる用具・材料によって、系統的に構成され、カリキュラム順に配列されています。また、学習指導要領で適宜されている三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）をバランスよく育てられるように6年間を通して考えられています。

## 2. 三学期制、二学期制のカリキュラムについて

---

1で述べたように、教科書の題材配列はカリキュラム順を意識していますので、基本的にはページの順番に学習することが可能です。したがって、各学年の年間指導計画（案）では、教科書のページ順に示しています。しかし、たとえば、学校行事などに合わせる場合や、学期をまたがないように題材を終了させた場合などは適宜学習の順番を入れ替えて使用することを推奨します。また、いくつかの題材は選択題材の扱いとしています。児童の興味や関心、活動のペースやリズムを大切に、各学校や児童の実態に合わせて、自由に選択したり計画を修正したりしてご活用ください。なお、本指導計画においては、1単位時間を45分として扱っています。















# 題材ごとの観点別評価規準（例）

## 1. 題材別評価規準の基本的な考え方

---

本資料には、令和2年度版「図画工作」での年間計画作成の際に必要な題材ごとの評価規準を記載しています。評価規準は、児童が題材の学習を通して身につける資質・能力の状況を題材（内容のまとまり）ごとに学習内容に基づいて表したものです。地域や児童・学校の実情に応じて評価・評定にお役立てください。

平成29年の学習指導要領改訂に関わって、評価の観点が3観点（**知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度**）に整理されました。本資料においては、「観点別評価規準」とあわせて先生方の利便性を考慮し、あくまで一例ではありますが、「十分満足できると考えられる具体的な姿の例」を掲載しました。

教科書においては、題材ごとの目標を児童に向けて「学習のめあて」として示し、中心となる課題を「特に大切なめあて」として強調して示しています。本資料においても「☆」マークで強調して示し、「観点別評価規準」の関連する項目においても同じ「☆」マークを付すことで強調するとともに、「十分満足できると考えられる具体的な姿の例」を、「特に大切なめあて」として強調して示した項目に関連して作成しています。

## 2. 凡例

---

本資料において、学習のめあてを以下の項目で示しました。

知：「知識及び技能」に関する目標

思：「思考力、判断力、表現力等」に関する目標

学：「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

また、観点別評価規準を以下の項目で示しました。

知：知識・技能の観点

思：思考・判断・表現の観点

主：主体的に学習に取り組む態度の観点

なお、本資料においては、1単位時間を45分として扱っています。

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
すきなもの いっぱい	絵	2	食べ物や乗り物、動物など好きなものをたくさん描く。	知 形や色を工夫しよう。	知 好きなものを描き、作品を見せ合うことを通して、形や色の面白さやよさに気づいている。 クレヨンやパスなどの扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表している。	☆ 自分が好きなものを思いつくままに描くことに興味をもち、思いついたものを次々にたくさん描いていくなど、のびのびとたのしく取り組もうとしている。	
				思 好きなものをいろいろ見つけよう。	思 経験したことや想像したことをもとに表したいものを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				☆学 好きなものをいろいろ描いてたのしもう。	☆主 思いつくままに絵を描くことに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。		
ねんどと なかよし	造形遊び	2	粘土を触ってたのしく活動する。	知 手をたくさん動かそう。	知 粘土に働きかける感覚や行為を通して、触った感じや形の変化に気づいている。 丸める、のばす、つまむなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。	☆ 体全体を使って粘土の触り心地を十分に味わい、丸めたりのばしたりつまんだりするなど、粘土に積極的に働きかけながら、いろいろな形を見つけることをたのしもうとしている。	土粘土、粘土板、タオルなど
				思 いろいろな形を見つけよう。	思 粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。		
				☆学 粘土の触り心地をたのしもう。	☆主 粘土の触り心地のよさを味わいながら、いろいろな形を見つけることをたのしもうとしている。		
クレヨンや パスと なかよし	絵	2	クレヨンやパスで写したり塗ったりする。	知 形や色を工夫しよう。	知 クレヨンやパスのいろいろな表し方を試すことを通して、そこから生まれる形や色の面白さに気づいている。 こすって写したり、塗り重ねたりするなど、いろいろな表し方を試しながら工夫して表している。	☆ クレヨンやパスのいろいろな表し方に強い興味をもち、身近なものを写し取ったり、いろいろな塗り方をためしたりするなど、たのしみながら進んで取り組もうとしている。	クレヨン、パス、画用紙など
				思 いろいろな描き方や塗り方を考えよう。	思 いろいろな描き方をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				☆学 クレヨンやパスで描くことをたのしもう。	☆主 クレヨンやパスのいろいろな表し方に興味をもち、たのしく取り組もうとしている。		
いろいろ ならべて	造形遊び	2	色紙の並べ方を考えながら活動する。	知 身近な材料の並べ方を工夫しよう。	知 同じ形を並べる活動を通して、形や色、並べ方の面白さなどに気づいている。 形や色に着目して材料を並べるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。	☆ 色紙やカップなどの材料と積極的に関わりながら、その形や色、大きさなどの特徴からいろいろな並べ方を思いつき、どのように活動するかを考えている。	色紙、カップ、キャップなど
				☆思 好きな並べ方を考えよう。	☆思 材料の形や色、大きさなどの特徴をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。		
				学 たのしく活動しよう。	主 材料の形や色に関心をもち、いろいろな材料の並べ方を試しながら、たのしく取り組もうとしている。		
チョッキン パッド かざろう	工作	6	折った色紙を切って開くとできる形をつなげて飾る。 ※はさみの使い方やのりの使い方に慣れる。	☆知 紙の折り方や切り方を工夫しよう。	☆知 紙の折り方や切り方を変えたり、それらを組み合わせたりすることを通して、いろいろな形や色の模様が表せることに気づいている。 紙の折り方や切り方をさまざまに試すなど、新しい表し方を見つけながら工夫して表している。	☆ 紙の折り方や切り方を変えたり、それらを組み合わせたりすることを通して、たのしい形や色の模様が表せることに気づき、いろいろな方法を進んで試しながら新しい表し方を見つけるなど、工夫して表している。	色紙、のり、はさみ、新聞紙など
				思 切った形のつなげ方を考えよう。	思 紙を折ったり切ったりしてできる形をもとに表したい模様を見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学 つくったり飾ったりすることをたのしもう。	主 紙の折り方や切り方を変えることで、いろいろな形や模様が表せることに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。		
ながーい かみから	絵	2	細長い画用紙にどんなものが描けるか考える。	知 描き方を工夫しよう。	知 細長い紙に描き、互いの作品を見せ合うことを通して、画用紙の形とテーマの関係の面白さに気づいている。 表したいことをもとに、形や色、描き方を工夫して表している。	☆ 長い画用紙をいろいろな方向から見ながら豊かに自分のイメージをもち、長い紙に描いてみたいものやそれを効果的に表すための方法について考えている。	クレヨン、パス、画用紙など
				☆思 紙の形から描きたいものを考えよう。	☆思 長い画用紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学 長い紙で描くことをたのしもう。	主 いつもと違う形の画用紙に絵を描くことに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。		

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
うきうきボックス	工作	4	空き箱を色紙などで飾ってつくる。 ※接着剤の使い方に慣れる。	☆知 箱の飾り方を工夫しよう。	☆知 飾り付けを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、箱の形や色を生かした表現の面白さやよさに気づいている。 箱の形や色を生かした飾り付けをするなど、表し方を工夫して表している。	☆ 空き箱の形や色、構造をとらえ、それらの特徴を生かした飾り付けを、身近な材料を効果的に使いながら工夫して表している。	空き箱、色画用紙、クレヨン、パス、カラーペン、身近な材料、接着剤、はさみなど
				思 箱の形を生かした飾りを考えよう。	思 空き箱の形や色をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学 箱をたのしく飾ろう。	主 空き箱の形の特徴を生かしてつくる活動に関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。		
さわってかくのきもちいい！	絵	2	手や指を使って絵の具で描くたのしさや気持ちよさを味わう。	知 手や指を使った描き方を工夫しよう。	知 手や指で描くことを通して、絵の具の跡の形や色の違いに気づいている。 指や手のひらを動かす勢いや強さなどを変えるなど、手の感覚を働かせながら工夫して表している。	☆ ところどころ絵の具を指や手のひらにつけて描いたり塗ったりする快さを心から味わいながら、たのしくのびのびと取り組もうとしている。	液体粘土、共同絵の具、白ボール紙、カップ、新聞紙、タオルなど
				思 描きたいことやものを見つけよう。	思 指や手のひらで思いのままに描いたり塗ったりした形や色から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				☆学 手や指で描く気持ちよさを感じてたのしもう。	☆主 ところどころ絵の具を指や手のひらにつけて描いたり塗ったりする快さを味わいながら、たのしく取り組もうとしている。		
みてみて、いっぱいつくったよ	立体	2	粘土で好きなものやつくりたいものを見つけてつくる。	知 いろいろなつくり方を工夫しよう。	知 粘土を使ったいろいろな表し方に気づいている。 粘土を丸める、のばす、引き出す、つけるなど、表したいことをもとに工夫して表している。	☆ これまでの経験をふり返ったり想像を広げたりしながら粘土でつくってみたいものをたくさん見つけ、粘土に触れながらどのように表すかを考えている。	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど
				☆思 つくりたいものをいろいろ見つけよう。	☆思 これまでの経験や想像したことをもとに粘土でつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学 たくさんつくることをたのしもう。	主 粘土で好きなものをたくさんつくることに興味を持ち、粘土の心地よい感触を味わいながらたのしく取り組もうとしている。		
せんの かんじ いいかんじ	絵	2	筆を大きく動かしてのびのびと描く。	知 線の描き方や色の使い方を工夫しよう。	知 筆の太さや手を動かす速さや強さを変えることを通して、筆触や色の違いに気づいている。 筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら、工夫して表している。	☆ 絵の具を筆で塗る快さを体全体で十分に味わいながら、心を開いてのびのびとたのしく取り組もうとしている。	共同絵の具、画用紙、筆、皿、新聞紙など
				思 線のいい感じを見つけよう。	思 思いのままに描いた絵の具の跡から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				☆学 のびのびと描くことをたのしもう。	☆主 絵の具を筆で塗る快さを味わいながら、心を開いてたのしく取り組もうとしている。		
ふわふわ ゴー	工作	4	うちわであおぐと風で動かしたのしいおもちゃを考えてつくる。	知 風で動くおもちゃのつくり方を工夫しよう。	知 互いの作品で遊ぶことを通して、飾りの形・色の面白さやよさに気づいている。 動きの特徴を生かした飾りをつけたり、絵を描いたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	☆ 容器が浮く仕組みや動きの特徴を何度も確かめながら豊かにイメージを広げ、つくりたいものの形やしなやかさを考えている。	スチレン容器、毛糸、色画用紙、カラーペン、セロハンテープ、はさみ、うちわ、色紙、クレヨン、パス、接着剤、洗濯ばさみなど
				☆思 動きを確かめてどんなものをつくりたいか考えよう。	☆思 浮く仕組みや動きの特徴をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学 つくったり遊んだりしてたのしもう。	主 風で動くおもちゃをつくる活動に関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。		
さらさら だるだる いいきもち	造形遊び	2	土の触り心地を味わいながら活動する。	知 土を掘ったり積んだり丸めたりすることを工夫しよう。	知 土を掘ったり、積んだり、丸めたりする活動を通して、土の触った感じに気づいている。 掘る、積む、並べる、水と混ぜるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつづけている。	☆ 土と積極的に関わることでその触り心地のよさを体全体で十分に味わいながら、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。	土、水、板、バケツ、タオルなど
				思 土でどんなことができるか考えよう。	思 土と水の組み合わせをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。		
				☆学 土の触り心地を味わい、活動することをたのしもう。	☆主 土の触った感じを体全体で味わいながら、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。		

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
はって かさねて… (かたちというでショートチャレンジ)	絵	2	お花紙や毛糸、シールで絵を描く。	☆ 知 貼り方や重ね方を工夫しよう。	☆ 知 材料を貼り重ねることを通して、それぞれの材料のもつ形や色、触った感じの特徴や面白さに気づいている。	☆ 材料を貼り重ねることを通して、それぞれの材料のもつ形や色、触った感じの特徴や面白さに気づき、材料の特徴を生かした効果的な重ね方、貼り方をいろいろと試すなど、表したいことをもとに工夫して表している。	お花紙、洗濯のり、毛糸、シール、画用紙、トレイ、はさみ、皿など
				思 貼りながらつくりたいものを考えよう。	思 貼り重ねた材料の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学 材料の形や色をたのしもう。	主 材料の形や色、触った感じに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。		
ちぎってはって	絵	2	ちぎった色画用紙の形から考えて、絵に表す。	知 ちぎった紙の並べ方や貼り方を工夫しよう。	知 ちぎった色画用紙を並べたり貼ったりすることを通して、形や色の美しさや面白さに気づいている。	☆ ちぎった色画用紙の形や色に着目し、いろいろな並べ方を積極的に試しながら表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	色画用紙、画用紙、接着剤、タオルなど
				☆ 思 ちぎった紙を使って、絵にしたいことを考えよう。	☆ 思 ちぎった色画用紙の形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学 紙をちぎったり貼ったりしてたのしもう。	主 ちぎり絵で表すよさを味わいながら、たのしく取り組もうとしている。		
あそぼうよ、パクパクさん	工作	6	手で動かして遊ぶおもちゃをつくる。	☆ 知 仕組みを生かしたつくり方を工夫しよう。	☆ 知 仕組みを生かした作品をつくり、遊ぶことを通して、飾り付けの形や色の面白さやよさに気づいている。	☆ バクバクと動く仕組みや動きの特徴をとらえ、色画用紙やクレヨンなどの身近な材料を効果的に使いながら、「パクパクさん」の形や飾り付けを工夫して表している。	クレヨン、パス、カラーペン、色画用紙、接着剤、はさみなど
				思 仕組みからたのしい「パクパクさん」を考えよう。	思 動く仕組みや動きの特徴をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学 「パクパクさん」でたのしく遊ぼう。	主 バクバクと動く様子やその仕組みに関心を持ち、活動にたのしく取り組もうとしている。		
スタンプ、スタンプ！	造形遊び	2	身近な材料を使って、形を見つけながらスタンプする。	知 いろいろな写し方を工夫しよう。	知 いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色の面白さに気づいている。	☆ 身近な材料を写してできる形や色に着目し、並べ方や組み合わせ方など、いろいろな材料の写し方を積極的に試しながら造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	共同絵の具、大きな紙、身近な材料など
				☆ 思 写しながら形を見つけよう。	☆ 思 身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。		
				学 スタンプ遊びをたのしもう。	主 写すことに関心を持ち、いろいろな材料の写し方を試しながら、たのしく取り組もうとしている。		
ひかりのくにのなかまたち	工作	6	色セロハンと透明な袋で、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆ 知 形や色を工夫しよう。	☆ 知 材料や作品を光にかざすことを通して、光が透過する材料の形や色の面白さに気づいている。	☆ 材料や作品を見ることを通して、光が透過する材料の形や色の面白さに気づき、袋の形や飾り付けの表し方、中に詰める材料の効果的な選択など、表したいことをもとに工夫して表している。	色セロハン、セロハン袋、モール、お菓子の包み紙、セロハンテープ、接着剤など
				思 光を通す材料からつくりたいものを考えよう。	思 材料の形や色などをもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学 たのしくつくって飾ろう。	主 光を通した材料の美しさや面白さに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。		
おしらせします！ にっこりニュース	絵	2	たのしかったことやうれしかったことを絵に表す。	☆ 知 形や色、描き方を工夫しよう。	☆ 知 絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づいている。	☆ 絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づくとともに、自分が伝えたいことが効果的に伝わるように、描画材料を選び、表すものの形や色、描き方を工夫して表している。	クレヨン、パス、共同絵の具、画用紙、筆、皿など
				思 一番知らせたいことを考えよう。	思 自分の経験したことをもとに伝えたいニュースを思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学 みんなに知らせたいことをたのしく描こう。	主 伝えたいことを絵に表すことに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。		

■第1学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
みて、さわって、かんじて	鑑賞	2	いろいろな紙を見て触って感じたことをたのしむ。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	知 いろいろな紙の違いを知ろう。	知 いろいろな種類の紙を見たり触ったりする活動を通して、形や色、触った感じなどの違いに気づいている。	☆ いろいろな紙の形や色、触った感じに強い関心を持ち、触り心地や形の変化を味わうなど、手や体全体の感覚を十分に働かせながらたのしく取り組もうとしている。	いろいろな紙など
				思 紙からどんなことができるか考えよう。	思 いろいろな種類の紙の、形や大きさ、色、触った感じなどの違いや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆学 いろいろな紙の形や色、触り心地をたのしもう。	☆主 いろいろな紙の形や色、触った感じに関心を持ち、手や体全体の感覚を働かせてたのしく取り組もうとしている。		
くしゃくしゃしたら だいへんしん	立体	2	くしゃくしゃにした紙からつくりたいものを立体に表す。	知 紙の形や色を工夫しよう。	知 薄紙に触れることを通して、そこから生まれる形や色、触った感じなどに気づいている。	☆ 薄紙にはたらきかけることで生まれるいろいろな形や色、触った感じを進んで試し、それらをもとに豊かにイメージを広げて、表したいことを見つけている。	薄い紙、のり、接着剤、タオルなど
				☆思 紙をくしゃくしゃして、どんなものができるか考えよう。	☆思 くしゃくしゃにした薄紙の形や色、触った感じなどをもとに、表したいことを見つけている。		
				学 紙の触り心地を味わおう。	主 くしゃくしゃにした薄紙から形を見つけて表すことに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。		
できたらいいな こんなこと	絵	4	できたらいいと思うことを考えて絵に表す。	知 描き方を工夫しよう。	知 互いの作品を見合うことを通して、描かれているものの形や色のよさに気づいている。	☆ これまでの経験から豊かに想像を広げて自分らしい「できたらいいな」を見つけ、表したいことが効果的に伝わるように、表すものの形や色、描き方などを考えている。	クレヨン、パス、カラーペン、共同絵の具、画用紙、筆、皿など
				☆思 絵の中でできるたのしいことを考えよう。	☆思 経験したことや想像したことをもとに「やってみたいこと」を思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学 思いついたことをたのしく描こう。	主 経験したことから自由に想像を広げながら、たのしく絵を描く活動に取り組もうとしている。		
はことはこをくみあわせて	立体	4	空き箱を組み合わせて好きなものを立体に表す。 ※セロハンテープの使い方に慣れる。	☆知 箱の組み合わせやつけ方を工夫しよう。	☆知 いろいろな紙箱を組み合わせることを通して、紙箱の形や色の面白さに気づいている。	☆ いろいろな紙箱の組み合わせを進んで試すことを通して、形や色の面白さに気づき、箱の形や構造、色などの特徴を生かした効果的な組み合わせ方やたのしい飾り付け、丈夫な接着を考えるなど、表したいことをもとに工夫して表している。	空き箱、接着剤、セロハンテープ、はさみなど
				思 箱を組み合わせて、つくりたいものを考えよう。	思 紙箱の形や色などをもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学 箱を組み合わせてたのしくつくろう。	主 箱を組み合わせることでいろいろな形ができることに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。		
こころのはなをさかせよう	絵	4	卒業する6年生や新1年生に見せる花を描いて飾る。	知 花の形や色を工夫しよう。	知 みんなで作品を飾ることを通して、花の形や色のよさや面白さに気づいている。	☆ 新入生や卒業生に喜んでもらうための飾りをつくることに強い関心を持ち、相手のことを思いながら気持ちを込めて花を描く活動に取り組もうとしている。	クレヨン、パス、画用紙、はさみなど
				思 見た人がたのしくなるような花を考えよう。	思 新入生や卒業生への思いをもとに飾りたい花を思いつき、どのように表すかを考えている。		
				☆学 心を込めて描き、友達と飾ろう。	☆主 新入生や卒業生に喜んでもらうと、気持ちを込めて絵を描く活動に取り組もうとしている。		

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
すきなことなあに	絵	2	遊んだこと、友達や家族としたこと、好きなことをしている自分を描く。	知 形や色を工夫しよう。	知 絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づいている。	☆ 自分が好きなことを絵に表すことに強い関心を持ち、のびのびとたのしく取り組もうとしている。	クレヨン、パス、カラーペン、画用紙など
				思 描きたい場面を考えよう。	思 表したい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表している。		
				☆学 描くことをたのしもう。	☆主 経験をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
ねん土が うごき出す！	造形遊び	2	粘土の触り心地を感じて活動する。	知 手の使い方を工夫しよう。	知 粘土に働きかけることを通して、触った感じや形の変化に気づいている。	☆ 体全体を使って粘土の触り心地を十分に味わい、握ったり、穴を開けたり、のぼしたりするなど、粘土に積極的に働きかけながら、いろいろな形を見つけることをたのしもうとしている。	土粘土、粘土板、タオルなど
				思 いろいろな形を見つけよう。	思 粘土を握る、穴を開ける、たたいてのぼすなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。		
				☆学 粘土の重さを感じて触り心地をたのしもう。	☆主 粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。		
新聞紙と あそぼう	造形遊び	2	体全体を使って、新聞紙で活動する。	知 新聞紙をねじったり裂いたりして、活動を工夫しよう。	知 新聞紙に働きかけることを通して、形や触った感じの変化に気づいている。	☆ ねじったり裂いたり穴を開けたりするなど、全身で新聞紙に働きかけながら、いろいろな形や触った感じの変化などを見つけることをたのしもうとしている。	新聞紙など
				思 新聞紙でどんなことができるか考えよう。	思 新聞紙をねじったり裂いたり穴を開けたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。		
				☆学 体全体を使って新聞紙をたのしもう。	☆主 新聞紙に働きかけることから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。		
ぼかしあそびで	絵	2	クレヨンやパスでこすり出して絵に表す。	☆知 いろいろなぼかし方を工夫しよう。	☆知 新聞紙に働きかけながら、いろいろな形や触った感じの変化などを見つけることをたのしもうとしている。	☆ クレヨンやパスのいろいろなぼかし方を積極的に試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさ、面白さに気づき、表したいことに応じてぼかし方を選んだり、それらを組み合わせたりするなど、工夫して表している。	クレヨン、パス、画用紙、ティッシュペーパー、はさみなど
				思 ぼかしてできた形や色から描きたいものを考えよう。	思 いろいろなこすり方を試したり組み合わせたりしながら工夫して表している。		
				学 ぼかし遊びをたのしもう。	☆主 クレヨンやパスを用いたぼかし遊びに関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。		
ふしぎな いきもの あらわれた	絵	2	白いクレヨンと絵の具で、はじき絵を描く。	☆知 描き方や塗り方を工夫しよう。	☆知 絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、はじき絵から生まれた形や色の面白さに気づいている。	☆ はじき絵から生まれる形や色の面白さに気づき、絵の具がはじく効果を考えながらクレヨンで生き物の形を描いたり、生き物のまわりの表し方を色使いやタッチを工夫して絵の具で表したりしている。	クレヨン、パス、共同絵の具、画用紙、筆、皿など
				思 あらわれたら面白い生き物を考えよう。	思 生き物の形や、生き物のまわりの色づかいなどの表し方を工夫して表している。		
				学 はじき絵をたのしもう。	☆主 はじき絵の技法に関心を持ち、あらわれたら面白い生き物を描く活動にたのしく取り組もうとしている。		
みんなで ワイワイ！ 紙けん玉	工作	4	仕組みを生かした紙けん玉をつくって遊ぶ。	☆知 けん玉の形や色、つくり方を工夫しよう。	☆知 紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色の面白さやよさに気づいている。	☆ 好きな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造やたのしい遊び方を考えたりするなど、表したいことをもとに工夫して表すとともに、互いの作品で遊ぶことを通して、けん玉の形や色の面白さやよさに気づいている。	厚紙、割りばし、ひも、ビニルテープ、カラーペン、はさみ、押しピンなど
				思 仕組みからつくりたいけん玉を考えよう。	思 好きな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。		
				学 けん玉をつくったり、遊んだりすることをたのしもう。	☆主 仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すかを考えている。		
					けん玉をつくって遊ぶ活動に関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。		

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
えのぐじま	絵	2	筆をのびのびと動かして描きたい「えのぐじま」を描く。	知 形や色、筆の使い方を工夫しよう。	知 筆をのびのびと動かして描くことを通して、互いの「えのぐじま」の形や色、筆触の違いなどに気づいている。 筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら、工夫して表している。	☆ 絵の具を筆で塗る快さを体全体で十分に味わいながら、心を開いてのびのびとたのしく取り組もうとしている。	共同絵の具、筆、画用紙、皿、新聞紙など
				☆ 思 描きたいえのぐじまを考えよう。	☆ 思 「えのぐじま」「カラフルななみ」などの言葉から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				☆ 学 絵の具と筆でのびのびと描くことをたのしもう。	☆ 主 絵の具を筆で塗る快さを味わいながら、心を開いてたのしく取り組もうとしている。		
くっつき マスコット	工作	6	紙粘土と磁石でたのしいマスコットをつくる。	☆ 知 紙粘土に磁石をつけて、形や色を工夫しよう。	☆ 知 紙粘土と磁石でマスコットをつくることを通して、作品の形や色のよさ、面白さに気づいている。 くっついたり、離れたりする磁石の特性を生かした形や色、しかけなどを試しながら工夫して表している。	☆ 磁石の特性を効果的に生かした形や色、しかけなどの表し方を工夫して表すとともに、遊んだり、実際に使ったりすることを通して、作品の形や色のよさ、面白さに気づいている。	軽量紙粘土、磁石、共同絵の具、カラーペン、接着剤、筆、皿など
				☆ 思 磁石でくっつきマスコットを考えよう。	☆ 思 磁石の特性をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。		
				☆ 学 つくることをたのしもう。	☆ 主 磁石を利用したおもちゃや飾りをつくることに関心をもち、たのしく取り組もうとしている。		
大きく そだて、びっくりやさい	絵	2	大きく育つ野菜を想像して絵に表す。	知 形や色を工夫しよう。	知 大きく育つ野菜を描くことを通して、「びっくりやさい」の形や色のよさや違いに気づいている。 クレヨンやカラーペン、共同絵の具の扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表している。	☆ 「びっくりやさい」という言葉から豊かに想像して表したいことを見つけ、そのことが効果的に伝わるように、表すものの形や色、描き方などを考えている。	クレヨン、パス、カラーペン、共同絵の具、画用紙、筆、皿など
				☆ 思 びっくり野菜の秘密を考えよう。	☆ 思 「びっくりやさい」という言葉から想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				☆ 学 びっくり野菜を描くことをたのしもう。	☆ 主 「びっくりやさい」という言葉から自由に想像を広げ、たのしく絵を描く活動に取り組もうとしている。		
こんにちは、むぎゅたん	立体	2	「むぎゅたん」という想像の生き物を粘土で立体に表す。	知 ひねったりつまんだりして形を工夫しよう。	知 手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形や質感がさまざまに変化する面白さに気づいている。 粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。	☆ ひねったりつまんだりするなど、粘土の塊に積極的に働きかけるなかでつくってみたい「むぎゅたん」を豊かに発想し、どのように表すかを考えている。	土粘土、粘土べら、粘土板、タオルなど
				☆ 思 粘土から想像して、つくりたい生き物を考えよう。	☆ 思 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				☆ 学 粘土でつくるとをたのしもう。	☆ 主 自分らしい「むぎゅたん」を表すことに関心をもち、粘土に積極的に働きかけながらたのしく取り組もうとしている。		
見つけたよ、わたしの色水	造形遊び	2	色水をつくりながら思いついた活動をする。	知 色水のつくり方や並べ方を工夫しよう。	知 色水をつくったり並べたりすることを通して、混ぜたときの色の変化や並べたときの形や色の面白さに気づいている。 いろいろな色の色水をつくったり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。	☆ できた色水の色や、容器の形から豊かに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	共同絵の具、インク、水、カップ、ペットボトルなど
				☆ 思 色水をつくりながら、どのように活動するか考えよう。	☆ 思 つくった色水の色や、容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。		
				☆ 学 色水でたのしく活動しよう。	☆ 主 色水をつくったり、並べたりすることに関心をもち、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。		
いろいろもよう (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	絵の具やカラーペン、インクなどでいろいろな模様を表す。	☆ 知 模様のつくり方を工夫しよう。	☆ 知 いろいろな描画材料を使って模様を表すことを通して、そこから生まれる形や色の面白さや違いに気づいている。 泡の形を写したり、折り染めをしたりするなど、いろいろな表し方を試しながら工夫して表している。	☆ いろいろな描画材料を使って模様を表すことを通して、そこから生まれる形や色の面白さや違いに気づき、泡の形を写したり、折り染めをしたりする際にも、それぞれの表し方の特徴を効果的に生かした表現を試すなど、表したいことをもとに工夫して表している。	共同絵の具、インク、カラーペン、画用紙、ティッシュペーパー、半紙、洗濯のり、カップ、ストローなど
				☆ 思 いろいろな模様を試したり見つけたりしよう。	☆ 思 それぞれの技法の特徴をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				☆ 学 模様をつくることをたのしもう。	☆ 主 模様のいろいろな表し方に関心をもち、たのしく取り組もうとしている。		

■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具		
のりのり おはながみで	工作	6	お花紙をちぎって重ねて貼り、光を通すと美しい飾りをつくる。	知	お花紙の形や色を工夫しよう。	知	作品づくりやできた作品を飾るを通して、触った感じの心地よさや、重なったお花紙の形や色の面白さに気づいている。	☆ ちぎったお花紙の形や色、触り心地に着目し、いろいろな並べ方や重ね方を積極的に試しながら表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	お花紙、洗濯のり、ビニル袋、タオル、はさみなど
				☆思	並べて、重ねて、好きな感じを見つけよう。	☆思	お花紙を並べたり重ねたりしたときの色や形、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学	お花紙の手触りをたのしもう。	主	お花紙の触り心地を味わいながら、飾りをつくる活動にたのしく取り組みようとしている。		
えのぐをたらしめたかたちから	絵	4	絵の具をたらしめた模様から想像して、絵に表す。	知	形や色を工夫しよう。	知	絵の具をたらずを通して、そこから偶然に生まれる線の形や色の面白さに気づいている。	☆ 偶然にできた絵の具の形や色をもとに表したいことを豊かに想像し、表したいことが効果的に伝わるように、表すものの形や色、描き方などを考えている。	共同絵の具、洗濯のり、クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、新聞紙、画板、カップなど
				☆思	絵の具の模様からお話を考えよう。	☆思	偶然にできた絵の具の形や色をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学	絵を描くことをたのしもう。	主	たらしめてできる絵の具の模様から絵に表すことに興味をもち、たのしく取り組みようとしている。		
えのぐひっぱレインボー	絵	2	厚紙や段ボールの切れ端などで絵の具をのばし、できた模様から絵に表す。	☆知	絵の具ののばし方を工夫しよう。	☆知	友達と作品を見せ合うを通して、互いの描いた「虹」の形や色、その生かし方の違いに気づいている。	☆ 厚紙でのばした絵の具がつくる形や色の面白さに気づき、好きな色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、工夫して表している。	共同絵の具、クレヨン、パス、画用紙、新聞紙、段ボールなどの厚紙、絵の具をとるもの、カラーペン、カップ、画板など
				思	絵の具の形から表したいことを考えよう。	思	厚紙でのばした絵の具の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学	絵の具をのばして、描くことをたのしもう。	主	絵の具を厚紙でのばす快さを味わいながら、たのしく取り組みようとしている。		
しぜんからの おくりもので	造形遊び	2	自然の材料を集め、つないだり組み合わせたりして活動する。	知	材料の並べ方を工夫しよう。	知	自然の材料を集め、並べたりつないだりするを通して、材料の形や色、触った感じの面白さに気づいている。	☆ 自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに豊かに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	ひも、紙の粘着テープ、落ち葉などの自然材料など
				☆思	材料の形や色からどんなことができるか考えよう。	☆思	自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。		
				学	自然の材料でたのしく活動しよう。	主	自然の材料の形や色に興味をもち、思いついた活動にたのしく取り組みようとしている。		
どうぶつさんと いっしょに	絵	4	見たり遊んだりした動物を思い出して絵に表す。	☆知	描きたい場面になるように形や色を工夫しよう。	☆知	動物と関わった場面を描くを通して、動物やまわりの様子や色のよさに気づいている。	☆ 絵に表したり友達の作品を見るを通して、描かれたものの形や色のよさに気づくとともに、自分が伝えたいことが効果的に伝わるように、描画材料を選んだり、表すものの形や色、描き方を工夫したりして表している。	クレヨン、パス、共同絵の具、画用紙、筆、皿など
				思	描きたい場面を考えよう。	思	動物を見たり、動物と遊んだりしたときの気持ちをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学	動物と自分を描くことをたのしもう。	主	動物を見たり、動物と遊んだりしたときのことを思い出しながら、たのしく活動に取り組みようとしている。		
すけるん たんじょう	立体	2	透明ファイルを切って、ひねったり丸めたりして思いついた生き物を立体に表す。	知	切った形のひねり方や、つなぎ方を工夫しよう。	知	透明ファイルを操作するを通して、透明な材料が重なったり組み合わせたりしたときにできる色や影、形の面白さに気づいている。	☆ 透明ファイルを切ったりひねったりすることから生まれるいろいろな形や色、触った感じを進んで試し、それらをもとに豊かにイメージを広げて、表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	透明なファイル、油性カラーペン、顔料マーカー、セロハンテープ、ホチキス、はさみなど
				☆思	丸めたりひねったりして、つくりたいものを考えよう。	☆思	透明ファイルを切ったりひねったりしてできた形をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学	「すけるん」をたのしくつくろう。	主	透明な材料に興味をもち、自分らしい「すけるん」を表す活動にたのしく取り組みようとしている。		



■第2学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
へんしんしよう	鑑賞	2	身近なものを使って何かに変身することをたのしむ。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	知 身近にあるものの形や色を知ろう。	知 身近なものを変身させる活動を通して、それぞれの形や色、触った感じの特徴や違いに気づいている。	☆ 身近なものの形や色、触った感じを再度違った角度から見直して変身させる活動に強い関心を持ち、たのしく取り組もうとしている。	身近にある材料
				思 身近にあるものをどのように使うか、考えよう。	思 身近なものの形や色、触った感じなどの特徴や面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆学 身近なものを使って、何かになることをたのしもう。	☆主 身近なものの形や色などを再度違った角度から見直しながら、変身させる活動にたのしく取り組もうとしている。		
あなの むこうは ふしぎな せかい	絵	2	画用紙に穴を開けて、つながる二つの世界を絵に表す。	知 穴を生かした絵の描き方を工夫しよう。	知 穴でつながる二つの世界を描くことを通して、穴の形の生かし方や、まわりの様子の形や色のよさに気づいている。	☆ 「あな」という言葉から豊かに想像して表したいことを見つけ、効果的に伝わるように、表すものの形や色、描き方などを考えている。	クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、接着剤、はさみなど
				☆思 穴でつながる二つの世界を考えよう。	☆思 「あな」という言葉から想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学 友達と作品を見せ合ってたのしもう。	主 穴でつながる二つの世界を描くことに関心を持ち、想像を広げながらたのしく取り組もうとしている。		
めざせ！ カッターナイフ名人	工作	2	カッターナイフを使っていろいろな線を切る活動をする。 ※カッターナイフの使い方に慣れる。	☆知 カッターナイフの使い方に慣れよう。	☆知 カッターナイフで切ることを通して、カッターナイフが生む鋭い形の面白さやよさに気づいている。	☆ 安全で正しいカッターナイフの扱いに十分に慣れ、いろいろな線を切ることを積極的に試すなど、工夫して表すとともに、作品を表したり見たりすることを通して、カッターナイフが生む鋭い形の面白さやよさに気づいている。	色画用紙、カッターナイフ、カッターマットなど
				思 切ってきた形から、つくりたいものを考えよう。	思 カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学 紙を切るたのしさを味わおう。	主 カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら、活動にたのしく取り組もうとしている。		
まどのある たてもの	工作	4	色画用紙や色造形紙をカッターナイフで切って窓を開けるなどして、建物をつくる。	知 建物の形や窓の開け方を工夫しよう。	知 カッターナイフで窓を切った建物をつくることを通して、建物や窓の形の面白さに気づいている。	☆ カッターナイフで切った紙の形から豊かに想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	色画用紙、割り箸、接着剤、カッターナイフ、カッターマット、色厚紙など
				☆思 窓の形やつくりたい建物を考えよう。	☆思 カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学 友達と作品を見せ合ってたのしもう。	主 カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら、活動にたのしく取り組もうとしている。		
いっぱいうつして	絵	4	型紙をつかって並べ方や重なり方などを工夫して版画に表す。	☆知 繰り返しや重なりなど写し方を工夫しよう。	☆知 版を並べたり重ねたりして写すことを通して、写すものの形や色の美しさや面白さに気づいている。	☆ 版を写すことを通して、写すものの形や色の美しさや面白さに気づき、表したいことをもとに、版の並べ方や重なり方、写す位置、絵の具の色などをいろいろ試しながら工夫して表している。	版画用具、共同絵の具、画用紙、透明シート、はさみ、新聞紙、タオルなど
				思 写し方を試しながら、表したいことを考えよう。	思 ローラー遊びや型紙版画の表現から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。		
				学 型紙版画で写すことをたのしもう。	主 型紙版画の表現に関心を持ち、版で表す活動にたのしく取り組もうとしている。		
かぶって へんしん	工作	6	お花紙を重ねて貼り、張り子のお面をつかって遊ぶ。	☆知 形や色、紙の貼り方を工夫しよう。	☆知 お面をつくり、遊ぶことを通して、お面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや機能性などに気づいている。	☆ 表したいことがより効果的に表せるように、土台となる型の形やお花紙の貼り方、飾り付けの方法などをさまざまに試すなど、表し方を工夫して表すとともに、つくったお面で遊ぶことを通して、お面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや機能性などに気づいている。	お花紙、洗濯のり、スチレン容器、ビニル袋、プラスチック容器、新聞紙、ビニルテープ、ボウル、トレイ、はさみなど
				思 つくりたいお面を考えよう。	思 自分が変身してみたい姿をもとにつくりたいお面を思いつき、どのように表すかを考えている。		
				学 お面をつくったり、かぶったりしてたのしもう。	主 お面をつくって変身することに興味を持ち、たのしく取り組もうとしている。		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
絵の具と水のハーモニー	絵	2	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。 ※筆や筆洗、パレットの使い方に慣れる。	☆ 知 筆の使い方や水の量を工夫しよう。	☆ 知 筆の動かし方や水の量を変えることを通して、あらわれる形や色などの感じがわかっている。	☆ 筆の動かし方や水の量を変えたりするなどいろいろ試しながら、あらわれる形や色などの感じがわかり、水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を積極的に工夫している。	絵の具、画用紙、水彩用具、新聞紙など
				思 絵の具遊びから、描きたいことを考えよう。	思 絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて、表したい感じを考えている。		
				学 絵の具で描くことをたのしもう。	主 水彩絵の具でいろいろな描き方を試し、描く心地よさを味わい、表すことをたのしもうとしている。		
ふわふわ空気をつみ木	造形遊び	2	空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動する。	知 袋の積み方やつなぎ方を工夫しよう。	知 膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。	☆ 膨らませたビニル袋の感触や心地よさを積極的に味わい、友達と協力したり場所に働きかけたりする活動をたのしもうとしている。	ビニル袋、セロハンテープなど
				思 袋を積んだりつないだりして、つくりたいものを考えよう。	思 膨らませたビニル袋の形や色、感触、活動する場所の感じをもとに、自分のイメージを広げながら、造形的な活動を思いついたり、新しく変化させたりして、どのように活動するか考えている。		
				☆ 学 空気の積み木のふわふわした心地よさをたのしもう。	☆ 主 膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、友達と協力してたのしもうとしている。		
ねん土ランドへようこそ	立体	2	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。	知 粘土のできることを生かして表し方を工夫しよう。	知 粘土に触れたり動かししたりすることを通して、粘土のできる形などの感じがわかっている。	☆ 友達と活発に関わり合い協力しながら、粘土に働きかけ、自他の感覚やイメージに関心を寄せて共有しながら、「ねん土ランド」をつくることを積極的にたのしもうとしている。	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど
				思 つくりながら、どんなねん土ランドができるか考えよう。	思 粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、どのような「ねん土ランド」ができそうか思いついたり、表し方などを考えたりしている。		
				☆ 学 友達と協力して、つくすることをたのしもう。	☆ 主 友達と協力しながら、粘土に働きかけ、自他の感覚やイメージを共有しながら、「ねん土ランド」をつくることをたのしもうとしている。		
ふくろの中には、何が…	工作	4	身近材料を使って、紙袋の中に自分だけの世界をつくる。	知 いろいろな材料の使い方を工夫しよう。	知 いろいろな材料を見たり触れたり集めたりして、それぞれの形や色の感じがわかっている。	☆ 自分のイメージを豊かにもち、袋の中に表したい世界を具体的に思いつき、材料の特徴や袋の形を生かしながら表したいことを考えている。	紙袋、身近な材料、画用紙、はさみ、接着剤、カラーペン、絵の具、水彩用具など
				☆ 思 袋の中に広がる世界を考えよう。	☆ 思 自分のイメージをもち、袋の中に表したい世界を思いつき、材料や袋の形を生かしながら表すことを考えている。		
				学 いろいろな材料でつくすることをたのしもう。	主 いろいろな材料で袋の中の世界をつくることをたのしもうとしている。		
ふしぎな乗りもの	絵	4	身近なものがどんな乗り物になったら面白いかわかえて、絵に表す。	知 形や色などの描き方を工夫しよう。	知 どのようなものが乗り物になったらのしさを考えながら、身近なものの形や色の感じがわかっている。	☆ 身近なものからイメージを豊かに広げ、不思議な乗り物や、思いついた不思議な乗り物が活躍する物語を発想豊かに考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、水彩用具など
				☆ 思 不思議な乗り物やお話を考えよう。	☆ 思 身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。		
				学 不思議な乗り物を描くことをたのしもう。	主 想像を膨らませながら、不思議な乗り物を描くことをたのしもうとしている。		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具		
にじんで広がる色の世界	絵	4	白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	☆ 知	にじみのできる形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆ 知	☆ クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかってい	絵の具、水彩用具、画用紙、色画用紙、クレヨン、パスなど	
				思	にじみのできた形や色からお話を考えよう。	思			にじみのできた形や色の感じから、自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、表し方を考えている。
				学	にじみで表すことをたのしもう。	主			にじみを生かして自分の色の世界を表すことをたのしもうとしている。
つかってたのしいカラフルねん土	工作	4	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。	☆ 知	たのしく使えるように、形や色の組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知	☆ カラフル粘土をつくることを通して、形や色の感じがわかり、粘土の扱いの経験なども生かしながら、形や色を工夫して表したいもののよさがあらわれるように効果的に表している。	軽量紙粘土、絵の具、空き容器、ビニル袋など	
				思	カラフル粘土で、使ってたのしいものを考えよう。	思			カラフル粘土のできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				学	カラフル粘土でつくことをたのしもう。	主			カラフル粘土でつくことをたのしもうとしている。
光サンドイッチ	工作	4	色セロハンをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆ 知	光と影の形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆ 知	☆ 光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかり、光や影を強く意識して、材料の形や色を何度も試したり、作り方を考えたり組み合わせたりして工夫している。	片面段ボール、トレーシングペーパー、色セロハン、カッターナイフ、カッターマット、定規、はさみ、接着剤など	
				思	光を通した材料からつくりたい飾りを考えよう。	思			光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに、表したい光の飾りを思いつき、どのように表すかについて考えている。
				学	光を通した美しさをたのしもう。	主			光を通したときの材料や飾りの美しさをたのしもうとしている。
あみあみ大さくせん	造形遊び	2	網を使って場所を生かした活動をする。	知	網の使い方を工夫しよう。	知	☆ 大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを豊かに広げ、場所などを生かして、活動を思いついたり、試したり、変化させたりしながら、どのように活動するか積極的に考えている。	網、身近な材料など	
				☆ 思	網をいろいろな場所に引っかけて、たのしい活動を考えよう。	☆ 思			大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、場所なども生かしながら、活動を思いついたり、変化させたりしながら、どのように活動するか考えている。
				学	網を使って、友達と協力して活動しよう。	主			場所を見つけ、網を使った活動を友達と協力しながら、たのしもうとしている。
でこぼこさん大集合	絵	4	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	☆ 知	版のつくり方や写し方を工夫しよう。	☆ 知	☆ 版として使えるような凹凸のある材料を集め、紙に写すことを通して、あられる形や色の感じがよくわかり、いろいろな材料を組み合わせる版をつくったり、刷り色の組み合わせや写し方を工夫したりしている。	身近な材料、厚紙、はさみ、接着剤、版画用紙、版画用具、ばれん、版画インク、新聞紙など	
				思	「でこぼこさん」とそのお話を考えよう。	思			版をつくったり写したりしてイメージを広げ、「でこぼこさん」とそのお話を考えている。
				学	版をつくったり、写したりすることをたのしもう。	主			いろいろな材料を組み合わせる版をつくったり、写したりすることをたのしもうとしている。
集めて、ならべてマイコレクション	鑑賞	2	自然の材料を集めて空き箱に自分らしく詰めたり並べたりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	知	材料の形や色の特徴を知ろう。	知	☆ コレクションの詰め方や並べ方、形や色などの感じをもとに、自分や友達のコレクションのよさをいろいろな視点から積極的に見つけようとしている。	空き箱、身近な材料、セロハンテープ、はさみなど	
				☆ 思	互いのコレクションのよさを見つかけよう。	☆ 思			コレクションの詰め方や並べ方、形や色などの感じをもとに、自分や友達のコレクションのよさを見つかけようとしている。
				学	身近な材料を集めたり、並べたりすることをたのしもう。	主			形や色、手触りなど自分の気に入った感じの自然の材料を集めたり、箱に並べたりすることをたのしもうとしている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
トントんくぎ打ち、コンコンビー玉	工作	4	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。 ※金づちと釘の使い方に慣れる。	知 釘の打ち方や材料のつけ方を工夫しよう。	知 金づちを使って釘を打ったり、材料をつけたりしながら、形や色の感じがわかっていく。 釘や金づちの扱いに慣れ親しみながら、材料のつけ方を工夫してコースをつくっている。	☆ 友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに強く関心をもつとともに、つくったコースで積極的に遊ぶことをたのしもうとしている。	板材、金づち、釘、ベンチ、ラジオペンチ、釘抜き、身近な材料、ビー玉など
				思 ビー玉が転がるたのしいコースを考えよう。	思 釘打ちでできる、ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、たのしい仕組みを考えている。		
				☆学 みんなで釘を打ち、つくったコースで遊ぼう。	☆主 友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに関心をもって、つくったコースで遊ぶことをたのしもうとしている。		
未来にタイムスリップ	絵	4	将来自分になりたい夢を想像して絵に表す。	知 場面に合った表し方を工夫しよう。	知 夢をかなえた瞬間を思い浮かべたり、動きで表したりしながら、その場面に合ったポーズと形や色の感じがわかっていく。 描画材料を使った経験などを生かしながら、夢をかなえた瞬間の場面に合った表し方を工夫している。	☆ 将来の自分を豊かに想像し、夢をかなえた場面を具体的に思いつき、自分や周囲の様子などをどのように表すか積極的に考えている。	絵の具、水彩用具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙など
				☆思 夢をかなえた場面を考えよう。	☆思 将来の自分を想像し、夢をかなえた場面を思いつき、どのように描き表すかを考えている。		
				学 自分の夢を表すことをたのしもう。	主 自分の夢を絵に表すことをたのしもうとしている。		
さわってわくわく	絵	2	身近な材料の触り心地を生かして貼り、絵に表す。	知 材料の組み合わせ方を工夫しよう。	知 材料に触ったり、見たりして、材料の形や色などの感じをとらえている。 材料に触れながら、形を変えたり、並べたり、組み合わせ方を変えたりなどの工夫をして表している。	☆ いろいろな種類の材料の触り心地のよさや違いを繰り返し味わいながらたのしもうとしている。	画用紙、色画用紙、身近な材料、接着剤、はさみなど
				思 触った感じを生かして、表したいことを見つけよう。	思 触り心地から仲間分けをしたり並べたりしながら、表したいことを見つけ、どのように貼るかを考えている。		
				☆学 材料の触り心地のよさや違いをたのしもう。	☆主 材料の触り心地のよさや違いをたのしもうとしている。		
生まれかわったなかまたち	立体	4	古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。	☆知 材料の形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆知 材料に触れたり、変形させたり、組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかっていく。 材料の変化を試しながら、表したいことに合わせて、形や色の組み合わせ方などの工夫をしている。	☆ 材料に触れたり、変形させたり、組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかり、形の変化を比べたりいろいろ試したりしながら、表したいことに合わせて、効果的に形や色の組み合わせ方などを工夫している。	着られなくなったもの、接着剤、モール、ひも類、輪ゴム、新聞紙、ボタン、リボン、毛糸など
				思 材料からつくりたいなかまを考えよう。	思 靴下や手袋に新聞紙などを詰めたり、ひもなどで結んだりした形や色などの感じをもとに、イメージを広げてつくりたいものを想像し、材料を生かして表したいなかまを考えている。		
				学 材料を変身させることをたのしもう。	主 靴下や手袋などの材料の形を変えていくことをたのしもうとしている。		
のこぎりひいてザク、ザク、ザク	工作	4	角材をたくさんのかぎりで切り、木片を組み合わせでつくりたいものをつくる。 ※のかぎりの使い方に慣れる。	☆知 のこぎりの使い方や木切れの組み合わせ方を工夫しよう。	☆知 のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっていく。 のかぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのようにのかぎりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を工夫している。	☆ のこぎりで角材を切ることから、いろいろな角材の形の感じがわかり、のかぎりの扱いに慣れ親しむとともに、どのようにのかぎりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を繰り返し試しながら、表し方を工夫している。	角材、のかぎり、紙やすり、接着剤など
				思 木切れから、つくりたいものを考えよう。	思 切ったできた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせで表すかを考えている。		
				学 のこぎりで木を切ることをたのしもう。	主 木の感触に親しみながら、のかぎりを使って角材を切ることたのしもうとしている。		
線と線が集まって (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫して絵に表す。	☆知 線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫しよう。	☆知 たくさんの線を描いたり、色を塗ったりしながら、形や色などの感じがわかっていく。 自分が感じた形や色の面白さなどから、線の組み合わせや色の塗り方を工夫している。	☆ たくさんの線を描いたり、色を塗ったりしながら形や色などの感じがわかり、描画材料や用具などを効果的に使い、自分が感じた形や色の面白さなどをもとに、線の組み合わせや色の塗り方を積極的に工夫している。	色鉛筆、カラーペン、画用紙、上質紙、定規、コンパス、厚紙、はさみなど
				思 線がつくる形から、描きたいことを考えよう。	思 線がつくる形や色などの感じから、自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、形の組み合わせや色の塗り方などを考えている。		
				学 線から生まれる形をたのしもう。	主 線の組み合わせで生まれる形を表すことをたのしもうとしている。		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
へん身だんボール	工作	2	段ボール箱を切ったり、穴を開けたり、つなげたりして変身できるものをつくって遊ぶ。 ※段ボールカッターに慣れる。	知 段ボールの形や穴の開け方、つなげ方を工夫しよう。	知 段ボールに触れながら、形などの感じや加工の方法についてわかっている。 体全体を使って、段ボールの切り方や穴の開け方、つなげ方などを工夫している。	☆ 段ボール箱でつくった変身するものを身につけて積極的にたのしもうとしている。	段ボール箱、粘着テープ、段ボールカッター、はさみなど
				思 段ボールでどんな変身をしたいか考えよう。	思 段ボールの形の感じや特徴からイメージを広げ、思いついた自分が変身したいものをどのように表すかを考えている。		
				☆学 つくった変身段ボールを身につけてたのしもう。	☆主 段ボール箱でつくった変身するものを身につけてたのしもうとしている。		
みんなでオン・ステージ！	工作	4	空き箱と輪ゴムなどを使って弦楽器をつくり、みんなで演奏してたのしむ。	知 楽器の形や色、つくり方を工夫しよう。	知 空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっている。 箱や角材などいろいろな材料や用具を使い、自分の表したい弦楽器に合わせて形や色、つくり方を工夫している。	☆ さまざまな弦楽器に関心をもち、思いついた弦楽器をつくることや友達といっしょに演奏することを積極的にたのしもうとしている。	空き箱、角材、色画用紙、輪ゴム、身近な材料、はさみ、接着剤など
				思 どんな弦楽器にするか、考えよう。	思 輪ゴムのかけ方やネックの取りつけ方、空き箱や容器の特徴から発想して、つくりたい弦楽器のイメージを広げ、どのように表すかを考えている。		
				☆学 友達と一緒につくったり、演奏したりすることをたのしもう。	☆主 弦楽器をつくることや友達といっしょに演奏することをたのしもうとしている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
絵の具のぼうけん、たのしさ発見！	絵	2	身近なものを使って絵の具遊びをたのしむ。	知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしよう。	知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっていいる。 身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、絵の具遊びをしている。	☆ いろいろな用具を使って絵の具で表すことに関心をもち、絵の具のできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことを積極的にたのしもうとしたりしている。	絵の具、画用紙、ストロー、歯ブラシ、ビー玉、ぼかし網、水彩用具など
				思 絵の具の新しい使い方を見つけよう。	思 思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけている。		
				☆学 思いがけない形や色をたのしもう。	☆主 いろいろな用具を使って、絵の具のできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしたりしている。		
つけて、のばして、生まれる形	立体	2	粘土をつけたりのぼしたりして、気に入った立体に表す。	☆知 いろいろな形の表し方を工夫しよう。	☆知 粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかっていいる。 握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を使いながら、いろいろな形の表し方を工夫している。	☆ 粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかり、握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を繰り返し使いながら、自分のイメージに合わせていろいろな形の表し方を効果的に工夫している。	土粘土、粘土べら、粘土板、タオルなど
				思 粘土をつけながら、どんな形にしたいか考えよう。	思 粘土をつけたりのぼしたりしてできた形の感じをもとにイメージを広げ、どのような形にしたいか考えている。		
				学 粘土の感触を味わいながら、つくすることをたのしもう。	主 粘土の感触を味わいながら、進んでつくすることをたのしもうとしている。		
木々を見つめて	絵	4	木を見たり触ったりして、表したい木を見つけ、絵に表す。	知 色づくりや筆使いを工夫しよう。	知 身近にある木々を見たり、触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっていいる。 絵の具を使って、色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。	☆ 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージを豊かに広げ、表したいことを積極的に考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙、水彩用具など
				☆思 木を見たり触ったりして、表したいことを考えよう。	☆思 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、表したいことを考えている。		
				学 木を描くことをたのしもう。	主 身近にある木々に興味をもち、自分なりの木を描くことをたのしもうとしている。		
つないで組んで、すてきな形	工作	4	紙バンドを組み合わせて、使ったり飾ったりするものをつくる。	☆知 紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫しよう。	☆知 紙バンドを曲げたり折ったり、組み合わせたりして、形や色の感じがわかっていいる。 紙バンドを曲げたり折ったりしながら、表したいことに合わせて組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。	☆ 紙バンドを曲げたり、折ったり、組み合わせたりなどいろいろな試みながら、形や色の感じがわかり、表したいことに合わせて効果的に組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。	紙バンド、はさみ、ホチキス、接着剤、身近な材料など
				思 使ったり飾ったりするものを考えよう。	思 自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ったり飾ったりするものを思いつき、どのようにつくっていくか考えている。		
				学 作品を使ったり飾ったりしてたのしもう。	主 紙バンドの特徴を生かして、使えるものや飾るものをつくることに主体的に取り組もうとしている。		
つながれ、広がれ！ だんボール	造形遊び	2	段ボール箱を切り分けて、つないだり組み合わせたりして活動する。	知 段ボールの切り方やつなぎ方を工夫しよう。	知 段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっていいる。 体全体を使って、切り方やつなぎ方を工夫し、段ボールの形を変えていく活動を工夫してつくっている。	☆ 段ボールの形や色の感じや活動場所の感じなどをもとに、自分のイメージを豊かに広げて造形的な活動を思いついたり、段ボールの形を新しく変化させたりして自分なりの考えを追求しながら、どのように活動するかについて考えている。	段ボール箱、段ボールカッター、カッターナイフ、カッターマット、結束バンド、割り箸など
				☆思 段ボールでどんなことができるか考えよう。	☆思 段ボールの形や色の感じや活動場所の感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら造形的な活動を思いついたり、段ボールの形を変化させたりしながら、どのように活動するかを考えている。		
				学 友達と力を合わせて活動しよう。	主 自分の思いを追求したり友達と協力したりしながら、主体的に活動をしようとしている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
かみわざ！ 小物入れ	工作	4	色厚紙で箱をつくり、それらを組み合わせて入れ物をつくる。	☆知 箱のつくり方や組み合わせ方を工夫しよう。	☆知 色厚紙を折ったり、切ったり、箱を組み合わせたしなが、形や色などの感じがわかってる。 ☆知 はさみやカッターナイフについての経験を生かしなが、表したい小物入れのイメージに合わせて箱のつくり方や組み合わせ方を工夫している。	☆ 色厚紙を折ったり、切ったり、組み合わせたりしなが、形や色などの感じがわかり、はさみやカッターナイフ、カッターマットについての経験を生かして、表したい小物入れに合わせた効果的な箱のつくり方や組み合わせ方を工夫してつくっている。	
				思 使ってたのしい小物入れを考えよう。	思 自分のイメージや形や色などの感じをもとに、使ってみたい小物入れを思いつき、表し方やどのようにつくるかを考えている。		
				学 小物入れをたのしくつくろう。	主 小物入れをつくることにたのしく取り組もうとしている。		
へんてこ山の物語	絵	6	「へんてこ山」の形から想像してお話を考えながら、絵に表す。	知 描く材料を選んだり、形や色などを工夫したりしよう。	知 「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかってる。 知 描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を表している。	☆ 奇想天外な「へんてこ山」の形から想像を豊かに広げ、思いついたお話をどのように表すかしっかりと考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙、水彩用具など
				☆思 へんてこ山の形から、お話を考えよう。	☆思 「へんてこ山」の形から想像を広げ、思いついたお話をどのように表すか考えている。		
				学 へんてこ山を描くことをたのしもう。	主 「へんてこ山」を描くことをたのしもうとしている。		
どろどろカッチン	立体	4	布を液体粘土で固めた形を生かして、立体に表す。	☆知 布の形や固め方を工夫しよう。	☆知 布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかってる。 ☆知 布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫している。	☆ 布や芯材に積極的に触れたりしながら、形や触り心地の変化などの感じがわかり、布や液体粘土の特性を効果的に生かして、表したい形になるように布の形や固め方を工夫している。	布、液体粘土、絵の具、身近な材料、ペットボトル・プラスチックカップなど、ビニル袋、トレイ、タオルなど
				思 布が固まった形から、表したいことを考えよう。	思 固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、どのように表すか考えている。		
				学 液体粘土の感触を味わおう。	主 液体粘土の感触を味わいながら活動に取り組もうとしている。		
本から飛び出した物語	工作	6	本のお気に入りの場面を段ボールと軽量紙粘土などでつくり、みんなで伝え合ってたのしむ。	知 形や色を組み合わせ、つくり方を工夫しよう。	知 お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかってる。 知 表したい場面に合わせて、形や色、身近な材料の使い方やつくり方を工夫している。	☆ お気に入りの場面を意欲的に表し、友達などと活発に関わり合い、伝え合うことをたのしもうとしている。	段ボール、軽量紙粘土、絵の具、身近な材料、接着剤、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど
				思 物語の場面が伝わるように考えよう。	思 物語を読んだり聴いたりして、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や、登場人物の気持ちなどイメージしたことから、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいかについて考えている。		
				☆学 お気に入りの場面を伝え合うことをたのしもう。	☆主 お気に入りの場面を表し、伝え合うことをたのしもうとしている。		
わくわくネイチャーランド	造形遊び	2	自然の場所を生かしてたのしい遊び場をつくる活動をする。	知 場所に合った活動を工夫しよう。	知 活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色、場所の感じがわかってる。 知 見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、自然材料の形や色などの感じを生かして活動を工夫してつくっている。	☆ 自然の場所の特徴を生かして進んで関わり、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、徐々に活動を思いついたり、豊かに変化させたりしながら、どのように活動するかを積極的に考えている。	段ボール箱、身近な材料や用具、粘着テープ、紙の粘着テープなど
				☆思 自然の場所を生かしてたのしい遊び場を考えよう。	☆思 自然の場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、活動を思いついたり、変化させたりしながらどのように活動するかを考えている。		
				学 友達と協力してたのしく活動しよう。	主 身近な場所や自然材料に関心をもち、自分の思いを追求したり、友達と協力したりして、たのしく活動をしようとしている。		
飛び出すハッピーカード	工作	4	友達や家族に伝える飛び出すカードをつくる。	知 飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。	知 飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかってる。 知 飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。	☆ 贈る相手のことを具体的に思い浮かべながら、伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かした多様な試みをし、どのように相手に合ったカードに表すか積極的に考えて取り組もうとしている。	カラーペン、色画用紙、画用紙、カッターナイフ、カッターマット、はさみ、接着剤、色厚紙など
				思 贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。	思 贈る相手のことを思い浮かべながら伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。		
				☆学 カードで気持ちを伝えることをたのしもう。	☆主 つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
何にかこうかな (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	画用紙以外のいろいろなものに描く。	☆知 材料に合った描き方を工夫しよう。	☆知 画用紙以外のものに描くことを通して、材料の特徴や感じがわかって いる。 材料に合った描画材料を使い、表したいことの描き方を工夫してい る。	☆ 画用紙以外のものに描くことをさまざまに試し、材料 の特徴や質感、描きたいことの形や色などの感じがよ りよくわかり、材料に合った描き方を効果的に工夫し ている。	
				思 材料の特徴から描きたいことを考えよう。	思 材料の特徴をもとに、自分のイメージを広げて表したいことを見つ け、どのように描くか考えている。		
				学 画用紙以外のものに絵を描くことをたのし もう。	主 画用紙以外のものに絵を描くことをたのしもうとしている。		
キラキラワールド	絵	2	キラキラ光る紙を切ったり重ねたりして 貼り絵に表す。	☆知 材料を生かした組み合わせ方を工夫しよ う。	☆知 キラキラ光る材料を見たり、触れたり、集めたりする ことを通して、材料の形や色などの感じがわかってい る。 キラキラ光る材料の形や色、触感などを生かして、組み 合わせや重なりなどを工夫している。	☆ キラキラ光る材料を見たり、触れたり、集めたりする など、材料と豊かに関わり、それらの形や色の感じが わかるとともに、その形や色、触感を生かして、組み 合わせ方や重ね方などを効果的に工夫している。	キラキラした材料、 画用紙、色画用紙、 はさみ、接着剤など
				思 材料の特徴から表したいことを考えよう。	思 キラキラ光る材料の特徴からイメージを広げ、表したいことを考え ている。		
				学 キラキラ紙を使って、絵にすることをたの しもう。	主 キラキラ光る材料を使って絵に表すことをたのしもうとしている。		
学校もりあげマスコット	絵	2	学校生活をたのしませたり手伝ってくれ たりするマスコットを描く。	知 マスコットの形や色を工夫しよう。	知 マスコットを描くことを通して、形や色などの感じがわかってい る。 表したいマスコットに合わせた形や色の工夫をしている。	☆ 学校を盛り上げるマスコットを意欲的につくって、学 校内のさまざまな場所に飾り、学校生活を盛り上げる ことを積極的にたのしもうとしている。	鉛筆、色鉛筆、カ ラーペン、板目紙、 厚紙、はさみなど
				思 場所や物から、マスコットを考えよう。	思 学校の場所やものからイメージを広げ、想像したこと から、どのようにマスコットに表すかについて考えてい る。		
				☆学 マスコットをつくって飾ってたのし もう。	☆主 学校もりあげマスコットをつくり、学校内に飾るこ とをたのしもうとしている。		
絵から聞こえる音	鑑賞	2	絵から感じた音を形や色で表し、互いの 感じ方の違いを味わったりたのしんだり する。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	知 感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫 しよう。	知 自分の感覚で絵を見ることを通して、音を表す形や色などの感じが わかってい る。 感じた音を表す形や色の組み合わせを工夫している。	☆ 積極的に友達と関わり合い、互いの感じ方の違いやよ さを深く味わったり、たのしんだりしようとしてい る。	クレヨン、パス、カ ラーペン、画用紙、 作家作品の複写など
				思 感じた音から、形や色で表すことを考えよ う。	思 自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げな がら形や色で表すことを考えている。		
				☆学 互いの感じ方の違いを味わったり、たの しんだりしよう。	☆主 互いの感じ方の違いやよさを味わったりたのし んだりしようとして いる。		
つくって、つかって、たのしんで	工作	4	のこぎりで切った板を組み合わせ、使っ てたのしいものをつくる。	☆知 板の切り方や切った板の組み合わせ方を工 夫しよう。	☆知 のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組 み合わせたりして、形や色やその組み合わせの感じがわかってい る。 のこぎりなどの用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方 や組み合わせ方を工夫している。	☆ のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板 の組み合わせを試したりして、板の形や色やその組み 合わせの感じがわかるとともに、のこぎりや用具の扱 いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を積極 的に工夫している。	板材、のこぎり、紙 やすり、角材、接着 剤、絵の具、水彩用 具など
				思 使ってたのしいものを考えよう。	思 板の形や組み合わせの感じをもとに、自分のイメージを広げ、使 ってたのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見 通しをもって考えている。		
				学 作品をつくってたのしもう。	主 つくることや、つくったものを使うことをたのし もうとしている。		
ほって表す不思議な花	絵	6	不思議な花を版木に彫刻刀で彫って木版 画に表す。 ※彫刻刀の使い方に慣れる。	☆知 彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を 工夫しよう。	☆知 彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかって いる。 彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り 方や刷り方などを試しながら工夫して表している。	☆ 彫ったり刷ったりすることを通して、形や色の感じが わかるとともに、彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表した いことに合わせて彫刻刀を選んだり、彫り方や刷り方 などをいろいろと試したりしながら工夫を十分に加 えて効果的に表している。	版画インク、版画用 紙、版木、版画用 具、ばれん、彫刻 刀、すべり止め、新 聞紙など
				思 表したい花を考えよう。	思 彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表した い花を思いつき、表し方について考えている。		
				学 彫って刷ることをたのしもう。	主 版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりするこ とをたのしもうとしている。		



■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
トントンつないで	工作	4	角材と薄い板を釘でつなぎ、動くものをつくる。 ※きりの使い方、金づちと釘の使い方に慣れる。	☆ 知 つなぎ方や動き方を工夫しよう。	☆ 知 角材と板を接合することを通して、形や色、組み合わせたときの動きなどの感じがわかっている。 のこぎりや金づち、釘を使いながら、つなぎ方や動き方を工夫して表している。	☆ 角材と薄い板を組み合わせたときの動きを何度も試すことを通して、形や色、組み合わせたときの動きの感じがよくわかり、のこぎりや金づち、釘などを適切に使い、効果的なつなぎ方や動き方になるように工夫して表している。	角材、薄い板材、アイスのへら、のこぎり、金づち、釘、きりなど
				思 動く仕組みから、つくりたいものを考えよう。	思 角材と薄い板を釘でつないで生まれる動きから、自分のイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのようにするか考えている。		
				学 切ったり、つないだりすることをたのしもう。	主 角材を切ったり、薄い板と釘でつないだりすることをたのしもうとしている。		
ゆめいろらんぷ	工作	4	透明容器と色セロハンなどを組み合わせ、ランプをつくってみんなで飾る。	知 ランプの材料や色の組み合わせを工夫しよう。	知 光が透過する材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の特徴や感じがわかっている。 用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している。	☆ 材料を透過する光の美しさや影の形の面白さなどを自分の感覚で十分に味わいながらランプをつくり、友達と協力してランプを飾ることを積極的にたのしもうとしている。	透明空き容器、光を通す材料、リサイクルばさみ、接着剤、LED ライト、段ボール箱など
				思 光を通した感じから、つくりたいランプを考えよう。	思 映る光の色や影の形からイメージを広げてつくりたいランプの形を見つけ、表し方について考えている。		
				☆ 学 ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしもう。	☆ 主 材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。		

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
季節を感じて	絵	4	季節から受けたイメージを絵に表す。	知 季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫しよう。	知 外に出て季節を見たり感じたりすることから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。 季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫して表している。	☆ 見たり触れたりしたことから季節を感じ取り自分のイメージを豊かに広げることから、どのように主題を表すか積極的に考えている。	絵の具、画用紙、水彩用具など
				☆ 思 季節から受けたイメージを大切に、表し方を考えよう。	☆ 思 季節から感じたことをもとに自分のイメージを大切に、どのように主題を表すか考えている。		
				学 季節の感じを味わい、たのしく描こう。	主 季節の感じを味わい、主体的に絵に表そうとしている。		
みんなでたのしく、「ハイ、ポーズ」	立体	2	粘土の可塑性を生かして動き出しそうな人物を立体に表す。	☆ 知 ねじったりひねったりして、動きのあるポーズを工夫しよう。	☆ 知 ねじったりひねったりすることから、立体の動きやバランスを理解している。 粘土をねじったり塊からひねり出したりするなどして、動きのある表し方を工夫している。	☆ 粘土のねじり方やひねり方の違いから生まれる動きやバランスをいろいろと試しながら、自分が表したい形を積極的に工夫して表している。	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど
				思 動きをとらえ、表したいポーズを考えよう。	思 動きやバランスなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージをもちながら、表したいポーズを考えている。		
				学 粘土の手触りを味わい、たのしく表そう。	主 粘土の手触りを味わい、主体的に動きを表そうとしている。		
形を集めて (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	同じ形の大きさや重なりを生かして絵に表す。	☆ 知 形の集め方や並べ方を工夫しよう。	☆ 知 集めたり並べたりすることから、形や色の動き、バランスなどを理解している。 身近にあるものの形を生かし、形の集め方や並べ方を工夫している。	☆ 身近にあるものの形に着目し、集めたり並べたりすることから、形の大きさや重なりをとらえ、形や色の動きやバランスを工夫して表している。	鉛筆、色鉛筆、カラーペン、版画インク、画用紙、版画用紙、消しゴム、版画用具、彫刻刀、ばれんなど
				思 どんな形を集めて、何を表すか考えよう。	思 形や色の動きやバランスをもとに、どんな形を集めて、何を表すか考えている。		
				学 形を集めて表すことをたのしもう。	主 形が集まる面白さを味わい、気に入った表し方を見つけようとしている。		
糸のこの寄り道散歩	工作	6	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った形を組み合わせてつくる。 ※電動糸のこぎりの使い方に慣れる。	☆ 知 板の切り方や組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知 板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。 電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。	☆ 電動糸のこぎりの特性を十分に生かし、曲線切りなど切り方を工夫するとともに、できた形をいろいろと組み合わせさせていくことを通して、動きや奥行き、バランスなどを意識ながら表している。	合板、木工用接着剤、絵の具、電動糸のこぎり、紙やすり、水彩用具など
				思 曲線切りをした板の形から表したいものを考えよう。	思 切った板の形や組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。		
				学 電動糸のこぎりで板を切ることをたのしもう。	主 電動糸のこぎりで板を自由に切ることをたのしさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。		
同じもの、たくさん	造形遊び	2	カップやフラフープなど同じものをたくさんつないだり組み合わせたりして活動する。	知 場所と材料の組み合わせ方を工夫しよう。	知 場所と材料を組み合わせることを通して、形や色、動きや奥行きを理解している。 身近にあるものを材料として活用し、場所との組み合わせ方を工夫している。	☆ 材料や場所の特徴を生かしてその組み合わせから発想し、造形的なイメージを豊かに広げながらどのように活動するか積極的に考えている。	カップ、新聞紙、フラフープ、セロハンテープ、クリップなど
				☆ 思 材料や場所、空間の特徴を生かして、できることを考えよう。	☆ 思 材料や場所の特徴や組み合わせから発想し、自分のイメージをもちながら活動したいことを考えている。		
				学 力を合わせてたのしく活動しよう。	主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかけようとしている。		
動きの不思議	絵	2	人の動きをとらえて絵に表す。	☆ 知 人の形を大きくとらえ、動きの表し方を工夫しよう。	☆ 知 自分の体を動かしたり描いたりすることから、人体の形や動きを理解している。 人の形を大きくとらえ、体の動きの表し方を工夫している。	☆ 積極的に体を動かしてみたり、いろいろなポーズをとってみたりすることから、人体の形や動きをとらえて表す工夫につなげている。	絵の具、カラーペン、コンテ、チョーク、画用紙、色画用紙、水彩用具など
				思 動きをどのように生かすか考えよう。	思 体の動きやバランスなどの特徴をもとに、人をどのように表すか考えている。		
				学 いろいろな表し方で、たくさん描いてたのしもう。	主 たくさん描くことをたのしみながら、主体的にいろいろな表し方をしようとしている。		

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
わたしのおすすめ	絵	4	地域のすてきなことやものを絵に描いて伝える。	知 伝えたい気持ちが伝わるように、描き方を工夫しよう。	知 地域にあるすてきなものやことに着目し、描くことを通して、その造形的な特徴を理解している。	☆ 自分が生活する地域のよさに目を向け、造形的な表現を通して、見つけた地域のよさを積極的に伝えようとしている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、水彩用具など
				思 地域のものやことなど、表したいことを考えよう。	思 伝えたいことや表したいことから発想し、どのように表すか考えている。		
				☆学 地域のよさを伝えることをたのしもう。	☆主 地域のよさを伝えることに主体的に取り組もうとしている。		
見つけて！ ワイヤードリーム	工作	6	針金の特徴を生かして、立体に表す。 ※ペンチ、針金の使い方に慣れる。	☆知 針金を曲げたりつなげたりして、つくり方を工夫しよう。	☆知 針金を曲げたりつなげたりすることから、動きやバランスを理解している。	☆ 用具を巧みに使いながら針金の形を思いのままに変化させたり、できた形を組み合わせたりしながら表し方を工夫している。	アルミ針金、板材、ペンチ、ラジオペンチ、きり、金づち、ビー玉、身近な材料など
				思 針金で表したい世界を考えよう。	思 針金を曲げたりつなげたりすることから発想し、つくりたい形や仕組みを考えている。		
				学 針金でつくすることをたのしもう。	主 針金に主体的に手を加えながら、つくることのたのしさを味わおうとしている。		
コロがるくんの旅	工作	6	ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ。	知 玉の転がり方を試しながら、コースを工夫しよう。	知 コースのしかけによる玉の転がりから、ものの動きやバランスを理解している。	☆ 互いのアイデアを出し合いながら力を合わせてコースターをつくり、友達と積極的に関わりながら遊んだりつくりかえたりする学習活動に取り組もうとしている。	段ボール、片面段ボール、工作用紙、身近な材料、絵の具、カラーペン、はさみ、ホチキス、接着剤、ビー玉、カッターナイフ、カッターマットなど
				思 転がると面白いコースやしかけを考えよう。	思 玉の転がりをもとにしかけを発想し、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。		
				☆学 友達と協力してつくり、遊ぶことをたのしもう。	☆主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、主体的にコースターをつくる学習活動に取り組もうとしている。		
あったらいい町、どんな町	絵	4	あったらいいな、行ってみたいと思う町を想像して絵に表す。	知 形や色の組み合わせを工夫しよう。	知 絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。	☆ 町にあるものや出来事を具体的に想像してイメージを豊かに広げながら、これまでの経験をもとに自分のイメージした町をどのように表していくのか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、画用紙、水彩用具、鉛筆など
				☆思 想像を膨らませて表したい町を考えよう。	☆思 あったらいいなという町の具体的なイメージを想像することから、どのように表すかを考えている。		
				学 表したい町を描くことをたのしもう。	主 想像を広げて描くことの喜びを味わい、自分のイメージを積極的に表そうとしている。		
地球は大きなキャンパスだ	造形遊び	2	身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する。	知 自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫しよう。	知 自然の材料と場所との組み合わせから、奥行きや色の鮮やかさを理解している。	☆ 材料や場所、空間の特徴を生かして、それらの関係をとらえることから豊かに発想を広げ、時間や環境の変化も含めて積極的に自分が活動したいことを考えている。	枝や葉っぱなどの自然材料など
				☆思 材料や場所、空間の特徴を生かして、できることを考えよう。	☆思 材料を集めたり場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考え合わせながら活動したいことを考えている。		
				学 力を合わせてたのしく活動しよう。	主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかけようとしている。		
比べてみよう	鑑賞	2	作品をよく見て比べ、形や色など感じたことを味わったり話し合ったりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	知 作品のよさや違いを見つけよう。	知 作品のよさや違いを見つけることから、形や色、描き方など造形的な特徴を理解している。	☆ 作品をじっくりと鑑賞して友達と話し合い、表現の意図や特徴などを多角的に感じ取ったり考えたりすることを通して、自分の見方や考え方を深めている。	作家作品の複写、絵の具、鉛筆、カラーペン、画用紙、水彩用具など
				☆思 作品の似ているところや違っているところを考えよう。	☆思 作品を比べて似ているところや違うところから、表現の意図や特徴などを感じ取っている。		
				学 互いの感じ方をたのしんだり、味わったりしよう。	主 気づいたことや感じたことを話し合うことから互いの感じ方の違いを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。		

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
進め！ ローラー大ぼうけん	絵	2	ローラーの特徴を生かして表し方を工夫しながら、絵に表す。	☆ 知 ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	☆ 知 ローラーを使った表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。 ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫している。	☆ ローラーと他の材料を組み合わせることからできる表現に気づき、いろいろと試すことから自らの創造的な技能として表し方の工夫に生かしている。	共同絵の具、絵の具、ひも、梱包材、画用紙、ローラー、練り板、はさみなど
				☆ 思 ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考えよう。	☆ 思 ローラーを使ってできた形や色から想像を広げ、表したいことを考えている。		
				☆ 学 ローラーを使ってたのしく活動しよう。	☆ 主 ローラーを使って表すことのたのしさを味わい、自分なりの表し方に取り組もうとしている。		
色を重ねて広がる形	絵	6	彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で版に表す。	☆ 知 彫る形や刷る色などを工夫しよう。	☆ 知 版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。 版による表現の特徴を生かして、彫る形や刷る色などを工夫している。	☆ 彫り進みによる表現の効果を考えて、彫り進める形や重ねる色の順番などを工夫している。	版画インク、版画用紙、版木、版画用具、彫刻刀、ばれん、すべり止め、新聞紙など
				☆ 思 彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考えよう。	☆ 思 彫りと刷りの繰り返しから想像を広げ、表したいことを考えている。		
				☆ 学 彫り進み版画をたのしもう。	☆ 主 彫り進みによる表現の面白さを味わい、主体的に版で表す活動に取り組もうとしている。		
だんボールで、試して、つくって	立体	6	段ボールの特徴を生かし、切ったりはがしたり折り曲げたりして、立体に表す。	知 段ボールの折り曲げ方や組み合わせ方を工夫しよう。	知 段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。 段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫している。	☆ 段ボールを折ったり曲げたりしていろいろな形をつくることを通してイメージを広げ、その組み合わせからさらに活動を発展させ、どのように表すか考えている。	段ボール、絵の具、接着剤、はさみ、カッターナイフ、カッターマット、定規、水彩用具など
				☆ 思 段ボールの特徴から表したいものを考えよう。	☆ 思 段ボールを折ったり曲げたりしてできた形や組み合わせから表したいものをイメージし、どのように表すか考えている。		
				☆ 学 段ボールの特徴を生かして、つくることをたのしもう。	☆ 主 段ボールの特徴を生かしてつくることのたのしさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。		
Myキャラが動き出す	工作	6	紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力して簡単なアニメーションをつくってたのしむ。	知 キャラクターの動かし方を工夫しよう。	知 オリジナルのキャラクターでアニメーションをつくることを通して、動きを理解している。 お話をもとにキャラクターの動かし方や撮影のしかたを工夫している。	☆ 互いのアイデアを生かしながら撮影するとともに、撮影したものを見て思いついたことを生かしながらさらに動かし方を変えてみるなど、積極的に活動に取り組もうとしている。	軽量紙粘土、絵の具、画用紙、色画用紙、デジタルカメラ、タブレット端末など
				☆ 思 キャラクターを使ったお話を考えよう。	☆ 思 キャラクターからお話を想像し、動かし方をどのように表すか考えている。		
				☆ 学 友達と協力してつくることをたのしもう。	☆ 主 互いのアイデアを出し合いながら、協力してつくろうとしている。		
そっと見てね、ひみつの景色	工作	6	箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わう。	知 材料の使い方を工夫しよう。	知 材料の使い方や組み合わせ方から、空間の奥行きを理解している。 材料の形の大きさや配置の前後など、表したい景色に合わせて表し方を工夫している。	☆ 互いの作品を見ることからその違いやよさに気づき深く味わうとともに、そこから自分の表現の工夫へと積極的につなげていこうとしている。	ふたのついた箱（靴箱など）、軽量紙粘土、身近な材料、はさみ、カッターナイフ、接着剤、絵の具、カラーペン、画用紙、色画用紙、片面段ボール、カッターマットなど
				☆ 思 箱の中をどんな場所にするか考えよう。	☆ 思 つくることと見ることを繰り返しながら、イメージした景色をどのように表すか考えている。		
				☆ 学 友達との表現の違いを知り、そのよさを味わおう。	☆ 主 互いの表現の違いやよさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。		

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
わたしのお気に入りの場所	絵	4	学校内外のお気に入りの場所を絵に表す。	☆ 知 気持ちが伝わるように、描き方を工夫しよう。	☆ 知 これまでの生活の中で感じ取ってきたことから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。	☆ これまでに経験した表し方を生かして、自分のイメージをよりよく表せるように色使いや筆使い、構図などを工夫している。	絵の具、クレヨン、パス、画用紙、水彩用具、鉛筆など
				☆ 思 お気に入りの場所から表したいことを考えよう。	☆ 思 お気に入りの場所から感じたことをもとに自分のイメージを大切に、どのように主題を表すか考えている。		
				学 お気に入りの場所をたのしく描こう。	主 お気に入りの場所を描くたのしさを味わい、主体的に絵に表そうとしている。		
今の気持ちを形に	立体	2	粘土で自分の今の気持ちを立体に表す。	知 粘土の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	知 粘土を回していろいろな方向から見ることから、立体の動きやバランスを理解している。	☆ 今の自分の気持ちをもとに、いろいろな方向から見ながら自分のイメージにふさわしい形をどのように表すか考えている。	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど
				☆ 思 今の自分の気持ちを表す形を考えよう。	☆ 思 今の自分の気持ちをもとに、いろいろな方向から見ながらどのように表すか考えている。		
				学 粘土の手触りを味わい、たのしく表そう。	主 粘土の手触りを味わい、主体的に自分の気持ちを表そうとしている。		
いろいろ、いろいろ (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	絵の具以外の材料や筆以外の用具を使って絵に表す。	☆ 知 材料や用具の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	☆ 知 いろいろな表し方を試すことから、形や色の動きやバランスなどを理解している。	☆ 材料や用具のいろいろな使い方を繰り返し試し、さまざまな表し方を工夫しながら形や色の動きやバランスをとらえて表している。	絵の具、液体粘土、接着剤、土や砂、チョークなど、画用紙や色画用紙など、段ボールや割り箸、縄など筆の代わりになるもの
				☆ 思 材料や用具から表すことを考えよう。	☆ 思 材料や用具の特徴をもとに、表し方をいろいろ試すことから表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。		
				学 形や色の面白さをたのしもう。	主 形や色の面白さを味わい、気に入った表し方を見つけようとしている。		
木と金属でチャレンジ	工作	6	木と金属の特徴を生かし、それらの組み合わせ方を工夫してつくる。	☆ 知 材料の特徴を生かしたつくり方を工夫しよう。	☆ 知 異なる材料の組み合わせから生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解している。	☆ 異なる材料の特徴を生かし、いろいろな組み合わせ方を工夫していくことを通して、動きや奥行き、バランスなどを意識しながら表している。	木材（板材、角材、枝など）、アルミ針金、空き缶、アルミホイル、接着剤、のこぎり、金づち、きり、小刀、ペンチ、ラジオペンチ、万能ばさみなど
				☆ 思 木と金属を組み合わせて表したいものを考えよう。	☆ 思 異なる材料の組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。		
				学 作品を飾ってたのしもう。	主 異なる材料の組み合わせによる面白さや美しさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。		
入り口の向こうには…	造形遊び	2	入り口をテーマに材料や場所の特徴を生かして活動する。	知 材料と場所の組み合わせ方を工夫しよう。	知 見慣れた場所に新たな材料を組み合わせることを通して、動きや奥行きを理解している。	☆ 材料や場所の特徴を生かしてその組み合わせから発想し、「入り口」という言葉から豊かにイメージを広げ、どのように活動するか積極的に考えている。	枝、つるなどの自然材料、身近な材料、フラフープ、ひも類、ペットボトルなど
				☆ 思 材料や場所の特徴を生かしてできることを考えよう。	☆ 思 材料や場所の特徴を生かした組み合わせから発想し、「入り口」という言葉からイメージを広げながら活動したいことを考えている。		
				学 力を合わせてたのしく活動しよう。	主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、主体的に学習に取り組もうとしている。		
ゆらゆら、どきどき	工作	4	針金を使って「やじろべえ」のような動くおもちゃをつくる。	☆ 知 バランスや動き方を工夫しよう。	☆ 知 針金を曲げたり揺れを指先で感じたりすることから、動きやバランスを理解している。	☆ 用具を巧みに使いながら針金の形を思いのままに変化させたり、できた形を組み合わせたりしながら針金の特性を生かした表し方を工夫している。	アルミ針金、板材、接着剤、ペンチ、ラジオペンチ、絵の具、身近な材料など
				☆ 思 動きから表したいものを考えよう。	☆ 思 針金を曲げたり組み合わせたりすることから生まれる動きから発想し、つくりたい形や仕組みを考えている。		
				学 動きのあるおもちゃづくりをたのしもう。	主 いろいろな動き方を味わい、主体的におもちゃづくりに取り組もうとしている。		

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
カット、ペタッと、すてきな形	絵	4	色画用紙を切り抜いたり重ね合わせたりして、絵に表す。	☆ 知 紙の切り方や重ね方を工夫しよう。	☆ 知 色画用紙を切ったり組み合わせたりすることから、形や色による動きやバランス、鮮やかさを理解している。 ☆ 知 これまでの経験を生かしてはさみやカッターナイフなどを活用し、紙の切り方や重ね方を工夫している。	☆ はさみやカッターナイフを巧みに使い、積極的に色画用紙を切ったり組み合わせたりすることを通して、形や色による動きやバランス、鮮やかさを理解し、貼り方や重ね方を工夫して表している。	色画用紙、接着剤、カッターナイフ、カッターマット、はさみなど
				☆ 思 切った紙の形や色から何を表すか考えよう。	☆ 思 切ってできた紙の形や色、その組み合わせから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。		
				☆ 学 切ったり重ねたりして、いろいろな表し方をたのしもう。	☆ 主 重ねた感じを味わいながら、主体的にいろいろな表し方に取り組もうとしている。		
きらめき劇場	工作	4	LED ライトと材料の特徴を生かして、表したいものをつくる。	知 光と材料の組み合わせ方を工夫しよう。	知 LED ライトとさまざまな材料の組み合わせから、色の鮮やかさや奥行きを理解している。 知 ライトや材料の特徴を生かしながら、その組み合わせ方を工夫している。	☆ いろいろな材料を使って光の効果を試しながら自分のイメージをもち、どのように表すか積極的に考えている。	透明な容器、色が変化するLED ライト、段ボール箱、身近な材料、接着剤など
				☆ 思 光の効果を試しながら、表したいものを考えよう。	☆ 思 光の効果を試しながら自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。		
				☆ 学 友達と協力して表すことをたのしもう。	☆ 主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、表現の可能性を見つけていこうとしている。		
時空をこえて	絵	6	自分が行きたい場所や時間から想像を広げて絵に表す。	知 表したいことが伝わるように、描き方を工夫しよう。	知 絵の具やクレヨンなどを使って想像した場所を描くことによって、バランスや奥行きを理解している。 知 表したいことが伝わるように、これまでの絵の具やクレヨンの経験を生かしながら表し方を工夫している。	☆ 行きたい時代や場所を具体的に想像してイメージを豊かに広げながら、これまでの経験をもとに自分のイメージした世界をどのように表していくのか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、水彩用具、鉛筆など
				☆ 思 行きたい場所や時間から表したいことを考えよう。	☆ 思 行きたい時代や場所の具体的なイメージを想像することから、どのように表すかを考えている。		
				☆ 学 友達や自分の表現を味わい、たのしもう。	☆ 主 想像を広げて描くことをたのしんだり、友達や自分の表現のよさを味わったりする活動に主体的に取り組もうとしている。		
みんなのお話始まるよ	絵	6	友達と協力してお話と絵を考えて紙芝居をつくり、伝えることをたのしむ。	知 場面の様子が伝わるように形や色を工夫しよう。	知 連続した場面を描くことから、物語を表す形や色、動きやバランスを理解している。 知 絵の具やクレヨンなどの特徴を生かして、場面の様子が伝わるように形や色を工夫している。	☆ これまでの経験をともに協力して互いのアイデアを生かしながら友達とお話をつくらせて絵に表したり、絵を通してお話を伝えたりすることに主体的に取り組もうとしている。	絵の具、クレヨン、パス、画用紙、水彩用具、鉛筆、カラーペン、白ボール紙など
				☆ 思 お話をつくり、どのように表すか考えよう。	☆ 思 お話をもとに自分のイメージをもちながら、どのように表すか考えている。		
				☆ 学 友達と協力してつくり、伝えることをたのしもう。	☆ 主 互いのアイデアを生かしながら協力してつくり、絵を通してお話を伝えることをたのしもうとしている。		
学校へようこそ	造形遊び	2	学校内の場所や環境を生かして、来校者がたのしくなるものやことを考えてつくる活動をする。	知 これまでに使った材料で、つくり方を工夫しよう。	知 これまで使った材料と場所を組み合わせることを通して、造形的な奥行きや色の鮮やかさを理解している。 知 これまでの経験を生かし、材料や場所に働きかけることから表し方を工夫している。	☆ 材料や場所、空間の特徴とともに、そこに来るときの気持ちや考えを表現することから発想を広げ、積極的に自分が表したいことを考えている。	段ボール、色画用紙、粘着テープ、色セロハン、お花紙、身近な材料、作業に合った用具など
				☆ 思 学校の場所を生かして、来る人をたのしませるアイデアを考えよう。	☆ 思 場所の形や特徴をもとに、来る人をどのようにたのしませるか考えている。		
				☆ 学 友達と力を合わせて活動をたのしもう。	☆ 主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかける活動に主体的に取り組もうとしている。		
龍を見る	鑑賞	2	日本やアジアの龍、西洋のドラゴンを表した作品について知ったり感じ取ったりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	☆ 知 龍や作品について知ろう。	☆ 知 作品のよさや表し方の違いを見つけることから、動きやバランスを理解している。	☆ 作品のよさや表し方の違いを見つけることから、表されている龍の動きやバランスを理解するとともに、設置場所との関係や表されてきた意味・背景を深く理解している。	鑑賞のための資料、墨汁、絵の具、和紙など
				☆ 思 作品の設置場所やその意味を考えよう。	☆ 思 作品の特徴からそれが置かれている場所や作品の意味を考えている。		
				☆ 学 作品のよさを味わおう。	☆ 主 作品から気づいたことや話し合っ感じたことから作品のよさを主体的に味わおうとしている。		

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
墨から生まれる世界	絵	2	筆だけでなく、さまざまな用具を使って、墨で表す。	知 墨や紙の特徴を生かして表し方を工夫しよう。	知 墨の濃淡や形の表現から、動きや奥行き、バランスを理解している。 墨や筆、紙の特徴を生かして表し方を工夫している。	☆ かすれやにじみなど墨による表現のたのしさを存分に味わい、さまざまな用具を工夫して適切に扱いながら積極的に新たな表現に取り組もうとしている。	墨汁、和紙、筆となるもの、新聞紙、皿など
				思 墨の濃さやできた形などから表したいことを考えよう。	思 墨の濃さや筆使いなどをいろいろと試すことから、表したいことを考えている。		
				☆学 墨で描くことをたのしもう。	☆主 墨による表現のたのしさを味わい、主体的に新たな表現に取り組もうとしている。		
ひびき合う形と色を求めて	絵	4	これまでに経験した版画やスチレンボードの特徴を生かして、版に表す。	知 スチレンボードの特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	知 スチレンボードを使った版表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさなどを理解している。 スチレンボードによる版表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫している。	☆ スチレンボードだからこそできる表し方を積極的に試すことから発想して自分のイメージを豊かに広げ、どのように表すか考えている。	版画インク、版画用紙、版画用具、カッターナイフ、カッターマット、ばれん、スチレンボード、版に傷をつける身近な用具など
				☆思 版をつくったり、刷ったりしながら、表したいことを考えよう。	☆思 さまざまな方法を試すことから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。		
				学 自分や友達の表現のよさや工夫を味わおう。	主 版による表現活動をたのしみ、自分や友達の表現のよさや工夫を味わおうとしている。		
バランス・アンバランス	立体	4	軽量で加工しやすい断熱材を使って、不思議な形の立体に表す。	知 材料の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	知 断熱材を材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。 断熱材の特徴を生かし、糸のこぎりや木工やすりなどの用具を活用しながら形を変えたり組み合わせ方を試したり表し方を工夫している。	☆ 断熱材の形や軽さを生かして発想し、いろいろと組み合わせを試しながら表したいもののイメージを豊かに広げ、どのように表すか考えている。	断熱材、アルミ針金、ペンチ、接着剤、絵の具、電動糸のこぎり、木工やすりなど
				☆思 材料の特徴から表したいことを考えよう。	☆思 断熱材の形や組み合わせから表したいものをイメージし、どのように表すか考えている。		
				学 削って形を変えることをたのしもう。	主 形を変えたり組み合わせでつくることのたのしさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。		
わたしはデザイナー 12さいの力で	工作	6	板材を加工して、生活で役立つ入れ物や木箱などをつくる。	☆知 材料の使い方やつくり方を工夫しよう。	☆知 板材の構成や仕組みから、バランスや奥行きを理解している。 これまでの経験を生かし、材料の使い方やつくり方を工夫している。	☆ これまでの経験を生かして必要な用具を適切に選ぶとともに安全に注意して巧みに使い、用途に合った材料の使い方やつくり方を工夫している。	板材、電動糸のこぎり、のこぎり、きり、金づち、釘、紙やすり、絵の具、蝶番、水彩用具、刷毛、工作用紙、鉛筆、定規など
				思 使う場面を思い浮かべて入れ物を考えよう。	思 用途をもとにつくりたいものを発想し、どのようにするか考えている。		
				学 生活の中で使える入れ物をたのしくつくろう。	主 生活の中で役立つものをつくることの喜びを味わい、豊かな生活を創造しようとしている。		
夢の新製品	工作	6	身近な材料で、あったらいいと思う新製品をつくり、互いのアイデアや面白さを伝え合う。	知 身近な材料の使い方を工夫しよう。	知 身近な材料を組み合わせることから、動きやバランスを理解している。 つくりたいものに合わせて材料を選んだり組み合わせたりしながら、つくり方を工夫している。	☆ 自分の作品の発想や表し方の工夫を積極的に伝え合うとともに、互いの表現のよさや自分との違いを深く味わおうとしている。	身近な材料、絵の具、接着剤、はさみ、ペンチ、ラジオペンチなど
				思 あったらいいと思う新製品を考えよう。	思 自分の願いから発想し、つくりたいもののイメージをもちながらどのようにするか考えている。		
				☆学 互いのアイデアや表し方、面白さを伝えよう。	☆主 互いの表現のよさや工夫を伝え、味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。		